

**山梨県歯科医師連盟****連盟ニュース 第 90 号**

□発行

山梨県歯科医師連盟 甲府市大手 1-4-1

TEL: 055-252-6481 FAX: 055-253-0854

□発行人: 篠原 昭夫 HP: <http://ydpf.jp>

□編集人: 篠原 昭夫・馬場 康二

山梨県歯科医師連盟機関紙

**日本歯科医師連盟第 156 回評議員会**

青葉が目染める季節となり会員各位におかれましては益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。

さて、日本歯科医師連盟第 156 回評議員会が令和 8 年 3 月 26 日(木)13 時より歯科医師会館にて開催されました。太田日歯連盟会長より、2 月 8 日 第 51 回衆議院議員選挙において、全国会員各位のご協力、ご支援により、自民党が 316 議席を獲得することができ、歯科界から渡邊孝一氏(北海道 10 区・北医療大歯卒)、岡本康宏氏(愛知 5 区・愛学大卒)が当選されたことは大変心強いとの感謝の挨拶がありました。

また、評議員会では次の議案が審議され、議案どおり可決されました。

**【議案事項】**

第 1 号議案 令和 8 年度事業計画

第 5 号議案 令和 8 年度役員退職金積立金会計収支予算

第 2 号議案 令和 8 年度会費について

第 6 号議案 令和 8 年度運営基金積立金会計収支予算

第 3 号議案 令和 8 年度一般会計収支予算

第 7 号議案 令和 8 年参議委員通常選挙

第 4 号議案 令和 8 年度選挙関係管理会計終始予算

さて、高市政権の発足から半年が経過いたしました。この間高い内閣支持率を背景に、物価高騰対策、エネルギーの安定供給といった課題に対する支援などが実施されてきました。しかし、現在の中東(イラン、米国、イスラエル)の紛争の解決が見通せない局面では、しばらく微妙な日本の立ち位置を考えながらの難しい舵取りが求められますが、そのような中でも真摯に国民と向き合いながら困難を乗り越えていきたいと思っております。

なお、日本歯科医師連盟顧問 山田 宏 参議院議員は、自民党の新人議員教育や候補者発掘を担う人材養成組織、「中央政治大学院」のトップ(学院長)に就任されました。また、会議の中で山田議員は「治療に必要な麻酔薬が入手困難となっているが、今後国に強く働きかけるなど、できうる限りの努力をしていく」とおっしゃっていただきました。 [記: 会長 篠原]

**日本歯科医師連盟 第8回政治セミナー**

令和 8 年 4 月 10 日(金)、都内にて第 8 回政治セミナーが開催され、全国より各連盟役員並びに日本歯科医師連盟の執行部役員が出席しました。当日は、政権与党たる自民党から、幹部議員による総選挙大勝後の国民向けの広報の重要性を意識した率直な考えを聞く事が出来ました。

まず、元厚労大臣の田村憲久氏より「歯科をはじめとする、今後を取り巻く社会保障について」の演題で数字、データを駆使して現状を解説していただき、「各業界から様々な要望が出される中で、それを実現させるには、与党のみならず歯科の先生方がまとまった姿、数を示すことが大切」また「高市内閣はプライマリーバランス重視から積極投資に舵を切ったので、その投資の流れを掴む努力が必要」さらに「誰かが何とかしてくれる事はない、仲間を束ね意思をいつも伝え続けることが重要」と力説されていました。

次に、前デジタル大臣の平将明氏より「デジタル、AI、サイバーセキュリティ」について講演があり、元警察庁サイバー捜査課長棚瀬誠氏からは「影響工作と選挙介入」について、新聞などのオールドメディアの切り取り報道に対して、一次情報の全文掲載という偏った世論形成や偏向報道対策の一端を解説していただきました。この取り組みからは情報発信を、すぐに消え去る単発情報を発信する「フロー型」から日々更新・蓄積し続ける「ストック型」へと転換し、言われっぱなしにさせない姿勢を感じました。また、AIを活用した国外からの影響工作とそれを十分に検証せずに引用してしまうオールドメディアの脆弱性についても解説がされました。

衆議院議院運営委員長の山口俊一氏からは「国政全般と国会運営」について、「総選挙圧勝後も参議院が少数与党となっている中でも、高市総理の考えがかなりの確率で実現できる」「最近の自民党の動きは右傾化ではなく、リベラルに傾き過ぎた自民党を中道に戻すということだ(笑)」などのお話がありました。

セミナー終了後は別会場にて懇親会となり、出席者並びに政府・自民党より多数の国会議員が参加した盛大な意見交換の会となりました。自民党から鈴木幹事長、萩生田幹事長代理。政府から上野厚労大臣、城内成長戦略大臣、小泉防衛大臣、その他大臣、副大臣、政務官など 20 名以上の来賓が現れましたので、この時ばかりはと意気込んで多くの有名議員と名刺交換をしました。この様な貴重な機会を得るためにも、次の参議院選挙では必ず我々歯科の代表を国政に送りましょう。 [記: 理事長 白井]